

施策分析シート（令和4年度）

No1

施策名	戦略的な政策形成と行政改革の推進	施策No	15-01	部課名	総務企画部総務企画課
				課長名	増田 内線 2140

関連部課名	総務企画部総務企画課				
-------	------------	--	--	--	--

行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために		
	政策	15	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進		

目的 戦略的・計画的な政策形成を図るとともに、効率的・効果的な区政運営を推進し、一層の区民サービスの向上や施策の充実を図る。区民へ事務事業等を分かりやすく説明し、区政への参画意識を高め、成果重視やコスト意識の醸成など、引き続き職員の意識改革を進める。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		元年度	2年度	3年度	
①					
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
①	区政に関心がある区民の割合(%)	54.8	56.0	59.8	60.0	60.0	荒川区政世論調査結果より
②	行革の取組項目数	160	159	149	176	176	「あらかわ区政経営戦略プラン」に基づく取組数。
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	2年度	3年度	差額	勘定科目	2年度	3年度	差額
	行政費用	給与関係費	40,759	48,470	7,711	地方税等	0	0
物件費		5,169	5,602	433	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		0	0	0	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		22,832	17,520	▲ 5,312	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費		199	137	▲ 62	その他	748	508	▲ 240
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	748	508	▲ 240
賞与・退職給与引当金繰入額		6,251	10,272	4,021	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 74,462	▲ 81,493	▲ 7,031
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		75,210	82,001	6,791	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 74,462	▲ 81,493	▲ 7,031
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 74,462	▲ 81,493	▲ 7,031

貸借対照表	勘定科目	2年度	3年度	差額	勘定科目	2年度	3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,924	2,381
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	1,924	2,381	457
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	16,416	28,130	11,714
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	16,416	28,130	11,714
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	579	442	▲ 137	負債の部合計	18,340	30,511	12,171
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 14,761	▲ 27,069	▲ 12,308
	その他の固定資産	3,000	3,000	0	正味財産の部合計	▲ 14,761	▲ 27,069	▲ 12,308
	資産の部合計	3,579	3,442	▲ 137	負債及び正味財産の部合計	3,579	3,442	▲ 137

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として、補助費、物件費の割合が高く、補助費においては自治体シンクタンクの運営補助金の14,215千円が約81%を占めている。令和2年度との差額の主な要因は、自治体シンクタンクの研究員1名減による補助金の減によるものである。物件費の内訳としては、シンボルキャラクターグッズ作成委託等が約10%、行政評価システムの保守委託が約32%、残りが指定管理施設の社労士による実績評価の委託経費となっている。
○貸借対照表に計上している無形固定資産は、シンボルキャラクター等の商標権である。行政収入その他の内訳は、キャラクターグッズの売上金等である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○昭和58年度に策定した「荒川区行財政体質改善基本計画」を皮切りに、着実に行財政改革を推進してきた。平成21年度からは選択と集中による行政資源の適正かつ効率的な配分により、経営的な視点を取り入れた『あらかわ区政経営戦略プラン』を策定することで「協働」「業務」「人事」「財務」の4つの戦略から、更なる行財政改革を推進している。</p> <p>○全ての政策、施策、事務事業を対象とした分析、評価を行う行政評価を毎年度実施することで、事業の改善や見直しを図っている。</p> <p>○行政評価では、成果指標と目標値を定めることにより効果的な評価、見直し・改善に努めている。また、平成26年度からは政策、施策の分析に「幸福実感指標（GAH指標）」を導入することで、区民の意向を評価に取り入れ、更には平成28年度から公会計を導入し、フルコストによる分析を行い課題や問題点を明らかにし、既存事業の改善や充実、新規事業立案に結び付けている。</p> <p>○令和元年度にサンセット方式を導入し、全ての事務事業を対象に分類を行い、終期設定が可能な事務事業に終期を設定し、令和2年度以降、サンセット方式の考え方にに基づき、終期を設定した事務事業を集中的に分析し、事業継続の可否を判断の上、事務事業の見直しを図っている。</p>
課題	<p>○社会経済情勢の変化に伴い、ますます多様化する区民ニーズに、区は限られた行政資源で的確に対応する必要がある。また、今般の新型コロナウイルス感染症による今後の区財政への影響等も鑑み、更なる行財政改革が必要となる。</p> <p>○既存事業について、事業の効率化や必要性・有効性等を考慮し、改善・見直しに取り組むとともに、休止・完了の可能性のある事業の洗い出しを積極的に行うなど、持続可能な行財政運営を実現するための取組を加速していく必要がある。</p> <p>○そのためには、事業や施設運営に要するコストについて、分析結果を区民に分かりやすく公表するとともに、区政運営に反映させ、PDCAサイクルを更に強固なものとしていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○毎年度改定する「あらかわ区政経営戦略プラン」に基づき、これまでに実施してきた行財政改革の理念を継承しつつ、BPR手法による業務の見直しに加え、AIやRPA等の新たなツールも活用し、区民サービスの向上と、より一層の効率化に全庁を上げて取り組んでいく。</p> <p>○サンセット方式の考え方に基づく行政評価を継続して実施していくことで、制度疲労を起こしている事務事業の廃止に繋げるなど、既存事業の徹底的な見直しを図る。</p> <p>○新公会計制度と「行政評価」とを連携することで、経年比較が可能となるため、将来の行財政のあり方について今後も分析評価を継続し、区民に対して、事務事業等をより分かりやすく説明していくとともに、安定した区政の運営を図っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
4年度	5年度	
重点的に推進	重点的に推進	新公会計制度と行政評価システムを連携することでより精緻な財務情報に基づいた分析、評価を実現するとともに、施設分析シート等も活用し、より戦略的・計画的な区政運営を実践していく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
指定管理者制度の運用に関する調整	01-01-11	23,500	22,499	6,089	4,354	重点的に推進	重点的に推進	民間事業者のノウハウを活かしたサービスの向上と費用の縮減の両立を図るとい制度の導入趣旨を踏まえ、全庁的な調整を図りながら、適切に運用していく。
行政評価の推進	01-01-12	19,199	18,815	2,875	1,804	重点的に推進	重点的に推進	今後も想定される厳しい財政状況の中で、真に必要な区民サービスを適切に提供していくために、不要不急の事業を見直し、選択と集中により、戦略的に事業を実施していく。
行政改革の推進	01-01-13	5,985	12,474	-	-	重点的に推進	重点的に推進	令和4年3月に策定した「あらかわ区政経営戦略プラン」に基づき、積極的に行政改革を推進していく。
自治体シンクタンクの運営支援	01-01-16	20,708	16,596	18,423	14,215	推進	推進	研究所の安定した運営に資するため、適切な支援を行う。
荒川区シンボルキャラクターの活用	01-01-17	5,165	7,493	965	552	推進	推進	区民の区への関心を高め、郷土への愛着を深めるとともに、区のイメージ向上等に資するため、推進する。
荒川区民総幸福度（GAH）の活用の推進	01-01-19	653	4,125	0	2,197	重点的に推進	重点的に推進	荒川区政が目標とする区民の幸福実感の更なる向上を実現するために積極的に取り組む必要がある。
合計		75,210	82,002	28,352	23,122			

